



# 仁比山っ子

令和元年 10月 28日 (月)  
神崎市立仁比山小学校 第20号  
(文責) 校長 田崎 幸子

学校目標 ふるさとを愛し、共に学び、心豊かにたくましく生きる「仁比山っ子」の育成

にこにこ笑顔であいさつ いっしょうけんめい無言で掃除をする やさしさいっぱいなかよくする子  
まじめにこつこつ勉強する子 ◎ こころと体をきたえ 進んで勉強する子

## 全校朝会(10月15日)での校長の話 ラグビー—神崎市四か条の誓い—



にほん せんしゅたち  
日本の選手たちも、花道  
をつくり、アイルランドの  
選手たちをたたえた。



にほん せんしゅたちに、花道  
をつくり、勝利をたたえた。

### ラグビーについて、はじまり、ボールの話 (略)

9/21 から 11/2 まで、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会が開催されています。(日本の結果・・・ベスト8) このワールドカップでは、こんなことがありました。9月28日の日本対アイルランドの試合の時です。世界ランク9位の日本は世界ランク2位のアイルランドに勝ちました。世界ランク2位である、アイルランドがまけたのです。世界ランクで上だったアイルランドチームは、悔しかったでしょう。悔しかったら、勝ったチームが喜んでいるすがたも見たくない、気持ちになりますよね。負けて悔しいアイルランドチームはどうしたと思いますか？実は、日本の選手たちに、「がんばったね、おめでとう」という気持ちで、花道を作り、勝利をたたえたのです。では、おめでとうとたたえられた、日本チームは・・・

日本の選手たちも、花道を作り、おたがいががんばった、とアイルランドの選手たちをたたえました。

ラグビーでは、試合の終わりを「ノーサイド」という言葉を使っていました。これは、試合が終わったらかったサイドも負けたサイドもなくなり、お互いにたたえる、という意味です。

神崎の四か条の誓いには「礼儀を重んじます」というのがあります。これは、相手や、相手の行動や気持ちを大事にして、親しみ愛することです。日本とアイルランド、このシーンは、まさしく、お互いを大事にして「礼儀」を重んじた姿です。

日本のお辞儀をする「オールブラックス」の姿もありました。



リード金野  
「できるだけ日本のみなさんとつながりたい。わたしたちを愛してくださっていた。オールブラックスのジャージを着てくださった方がたくさんいた。そういう思いに応えたいと思いました。」  
オールブラックスは、ふるさとを愛する心でプレーした。

このことをチームのキャプテンに尋ねると、「できるだけ日本のみなさんとつながりたい。わたしたちを愛してくださっていた。オールブラックスのジャージを着てくださった方もたくさんいた。そういう思いに応えたいと思いました。」と言いました。外国の方が日本の文化を理解し、感謝の気持ちを礼儀、挨拶で表してくれたのですね。

「神崎市の四か条誓い」は、神崎の皆さん子どもたち一人一人がしっかりと友達と仲良く楽しく頑張っていけるように作られました。世界の人たちとも仲良

くなれるようにも、願って作られました。

これからも四か条の誓いを大事にして、「五恩返しができる」、「礼儀を重んじることができる」、「決まりを守れる」、「思いやりがある」、仁比山っ子になりましょう。

「ノーサイド」のいみ  
しいがおわつたら  
かったがわ(サイド)  
まけたがわ(サイド)  
がない  
おたがいにたたえる

